



# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2008-2009



## ガバナーメッセージ

### “心に愛を、実践に情熱を！”

国際ロータリー第2710地区 2008—09年度  
ガバナー 諏訪 昭 登

親愛なるクラブ会長、幹事及び会員の皆様には  
新年度への周到な準備を完了されて、希望と使命感に満ちてスタートを切られたと思います。私も皆様方と同年度に、より良きロータリーを目指して同志として心一つに共に邁進できる喜びで一杯です。どうぞよろしく申し上げます。

2008～09年度

RIテーマ“Make Dreams Real”「夢をかたちに」  
RI会長強調事項 水、保健と飢餓、識字率向上  
李 東建 (D. K. リーと呼称) RI会長は、特に5才未満の幼児が毎日30,000人亡くなっている現実を憂い、幼児死亡率低下を強く進めたいと念願されました。世界中の子供達が無事成長して、多くの「夢をかたちに」出来るよう支援しようという願いです。「2008～09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに、地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです」と強調されました。そして世界中の子供達の「夢をかたちに」して下さることがRIテーマであり、ロータリアン皆様への挑戦です」と要請されたわけでした。それらの状況の根源にある問題として、ここ数年のRI会長強調事項をそのまま引き継ぐことを表明されました。このRIテーマのロゴマークは母が、幼児を慈愛を込めて抱いている姿に思え、ロータリーの原点たる優しく暖かい心即ち“愛”のかたちそのままであるように見えます。強調事項は環境、保健医療、教育などが継続重要課題であること示しており、それぞれの地区内のニーズとリソースについて検討のうえ、取り組んで下さることが大切です。

時代と共に変化するロータリーですが、組織面ではともかく、根底に流れる原理原則が変ってはならぬと思います。それはロータリーの理念であり万古不易たるべきものです。四大奉仕概念がロータリーの基盤であり、特に職業奉仕がさらにそ

の基本原則たることを強調したいのです。ここ10年来、日本のロータリーにおいて20%以上の会員減少や各地での不祥事が頻発しているのは、ロータリアンの心の貧困に最大原因ありと言わざるを得ません。

私は地区ガバナーの信条として“心に愛を、実践に情熱を！”と掲げました。ロータリーの基本理念たる奉仕の理想（サービスの理念）は、人には思いやりを持ち手助けをしようという共存共栄の精神の実践を求めるものであります。それには常に暖かい心。即ち“愛”がなければ意味を成さないし、愛情のかけ合いが人間の正しい在り方の原点です。今こそロータリアンは、職業奉仕の理念を根底において、人の役に立てる人生を追求する言わば“日本の香り”のするロータリーを再構築すべき時が到来していると強調致します。皆様はこの趣旨をご理解下さり、民主的で充実したクラブ運営と会員基盤の強化即ち会員増強に全力を尽して下さるよう要請します。それがあってこそその奉仕プロジェクトや諸活動の価値ある実践であります。RIと各クラブは等位置にあることを忘れずに、クラブ自治権のもと、最大限の情熱をもってご尽力下さることをお願いします。RIからの情報は正確に伝えますので、導通良き間柄で和やかにこの約束された年度をご一緒しましょう。

“ロータリアンとは奉仕能力の涵養に専念する人のことであり、その実践に努力する人である”  
(ロータリー通解)

(追記) 国際ロータリー細則15.090. (h) 項により、月信は各クラブの会長・幹事に対して発行するものとなっております。本年度は通例にならって地区内全会員にお送り致しますのでどうぞお読み下さい。